

【 15年度 報告書 概要 】

バランスシート

平成15年度の資産合計は前年度と比較して、流動資産の減少の影響が大きく、約2億6千万円の減となり、約1,830億6千万円となりました。

資産の部では有形固定資産が前年度比で約4億8千万円(0.3%)増加しました。そのうち、2億7千万円は前年度の数値の修正に伴うものであり、実質的には2億1千万円(0.1%)の増となります。これは白銀小学校建設事業や都市下水道改修事業等、前年度と比較して大規模な事業が多かったためです。

流動資産では、財政調整基金や繰越金が減少し、現金・預金で約17億円の減となり、前年度未収金として計上した繰越予算にかかる国庫支出金が収入されたため未収金についても8億9千万円の減少となり、流動資産の計では約26億円の減になっています。

一方、負債の部は平成12年度以降減少傾向にありましたが、15年度では前年度比で約8億6千万円の増となっています。これは市債を伴う建設事業の増加や臨時財政対策債(前年度比15億7千万円の増)等の増のためです。

公共団体のバランスシートにおいて自己資金を意味する正味資産については資産の減少と負債の増加により、前年比で約30億2千万円(2.2%)の減となっています。

佐倉市全体のバランスシート

14年度決算分から普通会計に加えて各特別会計を含めた佐倉市全体のバランスシートを並記方式で作成しました。

対象とする会計は「普通会計」「水道事業会計」「下水道事業特別会計」「農業集落排水事業特別会計」「国民健康保険特別会計」「交通災害共済事業特別会計」「老人保健特別会計」「介護保険特別会計」です。

普通会計と特別会計を含めた佐倉市全体の資産合計は約2,346億円になりました。

行政コスト計算書

行政コスト計算書は、地方公共団体の行政活動の中で人的サービスや給付サービスなど資産形成につながらない経費を行政目的別に集約したものです。

平成15年度の行政コストの総額は前年度と比較して約10億2千万円の増となり約365億2千万円となりました。

これを目的別に見ますと、昨年同様に高齢者や障害者、児童福祉や生活保護などに係わる民生費コストが約87億7千万円と最も高くなっています。次いで社会教育施設の管理運営や学校給食委託などの物件費に多くの費用が費やされた教育費に約64億4千万円のコストがかかっていることがわかりました。民生費は国や県からの支出金も多く、

市の一般財源の負担という観点から見ると、教育費が約62億円で最も多くなっています。

また、性質別にコストを見てみますと、人件費で約2億8千万円、公債費（利子分）で約1億4千万円の減少となりましたが、普通建設事業（他団体への補助金等）で6億8千万円、扶助費で約4億6千万円の増となっています。